

医療法人愛全会 愛全病院

住 所 〒005-0813 札幌市南区川沿13条2丁目1番38号
電 話 代表 (011) 571-5670

財団法人 日本医療機能評価機構認定病院
認定第MB44-2
審査体制区分3 (Ver. 5.0)

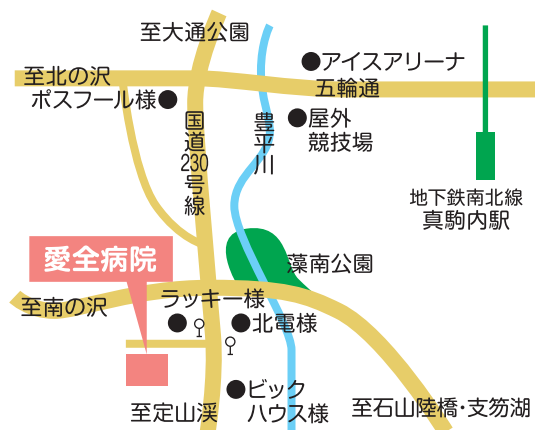
病床数 609床 (平成24年1月1日現在)
障害者施設等一般病床 126床
回復期リハビリテーションⅡ病床 55床
医療療養病床 120床
介護療養病床 308床

認定施設

臨床研修病院 (平成18年)
日本リハビリテーション医学会研修施設 (平成16年)
脳血管疾患等リハビリテーション施設Ⅰ (平成18年)
運動器リハビリテーション施設Ⅰ (平成18年)
呼吸器リハビリテーション施設Ⅰ (平成18年)
訪問リハビリテーション事業所 (平成18年)



理 事 長	赤 塚 知 以
病 院 長	藤 本 征一郎
名 誉 院 長	川 合 榮 邦
副 院 長	大 岩 彰
副 院 長	金 谷 聡一郎
顧 問	松 原 泉
看 護 部 長	八 巻 眞知子
事 務 部 長	高 橋 眞 理
副看護部長	星 昌 枝
副看護部長	高 橋 久 恵
副看護部長	甲 田 千賀子



じょうてつバス

地下鉄真駒内駅
[南95] 硬石山行き
[南95] 石山1条6丁目行き
JR札幌駅
[7番] 定山溪温泉行き
[7番] 藤野4条5丁目行き
[7番] 豊滝行き
JR札幌駅または地下鉄豊水すすきの駅
[南55] 硬石山行き

最寄の停留所 『川沿12条2丁目』にて下車

愛全病院 理念

私たちは、人間愛と責任感に基づき、患者さまを中心とした
生命を大切にする心 思いやりを大切にする心 学ぶことを大切にする心
をもって地域の安心づくりに努めます。

1. 人間愛と責任感に基づく、優しい医療に努めます。
2. 患者さまへの十分な説明と同意、並びに患者さまの選択の意志の尊重に努めます。
3. 患者さまのプライバシーを尊重し、また、個人情報の保護と診療情報の提供に十分な配慮をいたします。
4. 良質な医療サービスを提供して、地域の皆さまの安心づくりに貢献します。
5. 入院・通院から在宅まで「継続的な」医療とリハビリテーションの提供に努めます。
6. 常に患者さまの声に耳を傾けて、暖かみのある療養環境づくりに努めます。
7. 良質な医療の提供のため、たゆまざる努力と研鑽に努めます。

患者さまの権利

1. 患者さまは、常に一人の人間として、その人格・価値観が尊重され、医療提供者との相互協力関係のもとで医療を受ける権利があります。
2. 患者さまは、社会的地位・年齢・性別・信条・疾病の種類などにかかわらず、平等に適切な医療を受ける権利があります。
3. 患者さまは、自分が受ける治療や検査の効果や危険性、他の治療方法の有無などについて十分な説明と情報提供を受ける権利があります。
4. 患者さまは、医療の内容を十分に理解し納得した上で、治療方法などを自らの意志で選択する権利があります。
5. 患者さまは、医療上得られた個人の情報やプライバシーが守られる権利があります。
6. 患者さまは、病気やその療養方法および保健・予防等について教育を受ける権利があります。
7. 良質・安全な医療を実践するためには、患者さまと医療提供者との間のパートナーとしての人間的信頼関係と双方向のコミュニケーションがきわめて重要になります。

平成24年1月1日発行
編集責任者：医療法人愛全会 愛全病院 広報委員会
委員長 坂本知幸

発行所：医療法人愛全会 愛全病院
〒005-0813 札幌市南区川沿13条2丁目1番38号
電 話：(011) 571-5670

医療法人愛全会

愛全病院 広報誌

2012年1月 No.9

優 ゆう



『選ばれる愛全会』を目指して

私たちは、地域の皆さまから「選ばれる愛全会」となることを目指し
心をひとつにして、日々努力を積み重ねてまいりますので
今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

<辰年(2012年)の5つの約束>

- 1 私たちは、地域の絆を大切にし、地域と共に発展することを目指します。
- 2 私たちは、医療・介護・福祉の総合力を発揮して、住み慣れた地域での安心・安全な生活を支援します。
- 3 私たちは、愛全病院の診療機能の強化を図り、医療を必要とする地域の高齢者の方々の円滑な入院受け入れに努めます。
- 4 私たちは、すべての職種が互いに連携・協働して、良質なチーム医療、チームケアを推進します。
- 5 私たちは、サービスの質を高めるために、知識・技術の研鑽に努めます。

医療法人愛全会

理事長 赤塚 知以

本年も、よろしく願いいたします。

医療法人愛全会
愛全病院
病院長 藤本 征一郎



新年明けまして
おめでとうございます。

平成24年は龍の年です。幾多の
国難の中にあっても、翔龍の勢いをも
って、閉塞感を打破して、国家の運
営・経営改善に国民の総力が注が
れるべき新年と思われます。

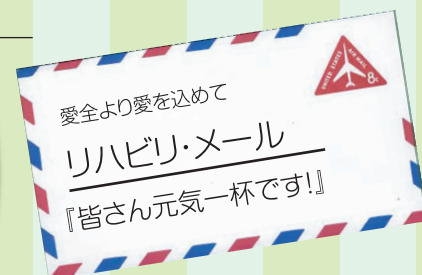
「社会保障・税一体改革成案」
の中で、年金・医療費・税などの主
要項目が渾然と論じられております
が、龍頭蛇尾に終着しないことを望
みます。1,000兆円以上の国債（借
金）を発行し、高額な利息を支払う
ことにより貧富の格差はますます拡

大し続けるばかりです。

現代社会では、要領のよい者、口
先の上手な者、小銭を貯め込む者な
どが経済的勝者となり、WIN-WIN
を謳歌します。そして、残念ながら
安宅正路を歩む者が敗者となりが
ちです。しかし、人として大事なこ
とは、勝者となることが必ずしも幸
福であるとは限らないことです。

安宅正路の心がけを持ち続けて
時には清貧を自慢しながら、真の幸
福とは何かを考える精神的落ち着き
を今一度取り戻そうではありません
か。経済至上主義の破綻が見え隠
れる最近です。

年初にあたり、「友和翔龍」の力
強さを皆様とともに共有したいと思
います。



愛全病院回復期リハビリ病棟に
は、専属の理学療法士・作業療法
士をそれぞれ12名配置し、365日
体制でリハビリを提供しています。

更に病棟リハビリを盛り上げる
ため盛り上げ役（病棟リハマス
ター）を任命し、全職種が一体と
なって更に元気で明るい病棟にし
ていくために頑張っています。

その中、回復期リハビリ病棟に
今回新しく、理学療法士2名の新
任リーダーが誕生しましたので、
ご紹介いたします。

リハビリテーション部

新任リーダー紹介！

回復期リハビリ病棟のリハビリ
を盛り上げていくため、病棟リハ
マスターとして元気に頑張ってい
きたいと思います。全職種一丸と
なって患者さまの在宅復帰を目指
します。



荒井 裕章

他職種とより良いコミュニケー
ションをとりながら、患者さまに
とって何が大切かを常に考えてい
きたいです。若い職員も多いので今
まで以上にやりがいのある回復期
リハビリ病棟にしていきたいと思
っています。



泉 路子

医療法人愛全会
愛全病院
看護部長
八巻 眞知子



私は、昨年8月1日より看護部
長に就任いたしました。

病院の理念である「人間愛と責
任感に基づき患者さまを中心とし
た、生命・思いやり・学ぶことを
大切にする心をもって地域の安心
づくりに努める」を目標に現在も
取り組んでいます。患者さまが満
足し、職員がやりがいを持って働
いていけることは、理念の実現に

つながります。病院運営において
は、より安全で安心できる医療の
提供が不可欠です。

「この病院で良かった」と言っ
ていただけるチーム医療の推進に
取り組みたいと思っています。看
護部長としての私の目標は「人が
育つ組織作り」です。いつでも誰
でも発言できる組織や風土、看
護・介護を通して職員自身が成長
できる、そんな組織を目指し、教
育・人材育成に力を入れていき
たいと考えています。まだまだ至
らない点が多いかと思いますが、
どうぞよろしくお願いいたします。

看護部



副看護部長
高橋 久恵
外来担当
一般病棟担当

一昨年12月より一般病棟が1
病棟増え3病棟となりました。
病状が不安定な他施設からの患
者さまや関連施設、在宅から入院
が必要と診断された患者さまの受
け入れが強化されたことで、外
来・各病棟科長が認識を同じくし
た協力体制が求められました。現
場ではこれまで以上に多忙化し
てきましたが、その現状において



副看護部長
甲田 千賀子
介護療養病棟担当

介護療養病棟は、6病棟308床と
当院の半数を占めております。急
性期・回復期で病状が安定したが、
療養継続を必要とする要介護の患
者さまが転棟入院となります。病
状を評価しつつ、ADL維持向上・廃
用症候群防止の為に、心身・認知・
栄養面で個々のニーズに応じたり
リハビリ・ケアの提供を行ってい
ます。今迄は胃瘻・認知症・終末期迄

ら適切な治療や看護・介護が提
供されるよう、様々な取り組みを
行っています。患者さま、ご家族
さまに信頼される看護・介護を目
指していきたいと思っています。

医療療養病棟は、急性期病院や
一般病棟での治療が一段落した
後の療養を継続して行います。回
復期病棟では特にリハビリテー
ションを進めていきます。その過
程では、病状が再燃することあり
ますので、細やかな観察を行いま
す。適切な支援を行っていくよう
職員一同日々研鑽していきたい
と思っています。



副看護部長
星 昌枝
医療安全管理者
医療療養病棟担当
回復期リハ病棟担当

患者さまの入院生活において、
医療安全はまず第一に確保される
べきことです。中でも、転倒・転
落や骨折・外傷などの事故や、薬
品や医療機器に関する事故は、生
命に直結することから、各種委員
会活動を通して事故の分析を行
い、対策を講じ、未然に防ぐこと
や被害が最小となるよう検討を重
ねております。安全を確保しなが

食べるリハビリ=生きる喜び

食べることは、私たちが生きるた
めの栄養をとる方法であると共に、
食べる喜びを得て、生活の質を維
持・向上させるための大切な行為
です。加齢やご病気の影響で食
べられなくなることを摂食・嚥下
障害といいます。特にご高齢の患
者さまに多くみられ、栄養不足
や肺炎・窒息など、重大な問題
を引き起こす原因になることがあ
ります。

当院では摂食・嚥下障害の患者
さまに対し、リハビリテーション
専門医を中心に多職種で連携し
ながら、食べる

ことのリハビリテーションを積極
的に行っています。

患者さまの「食べたい」や、ご
家族さまの「食べてもらいたい」
というお気持ちに寄り添い、おい
しく安全に食事をさせていただ
くために日々奮闘しています。



「食べる」リハビリのプロフェッショナル
言語聴覚士&栄養士

初めまして（新任医師）



上原 憲全
内科

昨年9月から医療療養病棟を担
当しております。患者さまそれぞ
れの今後の目標を設定し、できる
限りの良質な医療提供を心掛けて
おります。

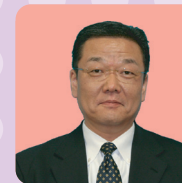


岩崎 昌弘
内科
リハビリテーション科

好きな薬は漢方薬。好きな食べ
物はパスタと焼き鳥。好きな言葉
は「メリハリ」（しっかり働き、ゆ
っくり休む）。好きなことは飲酒か
運動。どうぞよろしくお願いいたします。

事務部

医療法人愛全会
愛全病院
事務部長
高橋 眞理



あけまして
おめでとうございます。
当院は、病院機能評価（Ver
6.0）の更新年をむかえました。

医療の質的向上と安全性の確保、
病院運営の基盤整備に努め、患者
さまと地域の医療機関の皆さまか
ら選ばれる病院であり続けるこ
と。病院機能評価を通じて当院の
進むべき方向性を再確認し、その
実現をめざして行く。本年は当院
にとって大切な一年となります。
本年も何卒よろしくお願いいたします。

医療福祉連携課（医療相談室）

入院のご相談は、
私たちがお受けいたします。

医療相談室直通
（011）572-8001

私たち相談員が、ご入院される患者さま・ご家族のご意向やご希望を
お伺いしながら、入院手続きや今後の療養生活のサポートを行います。



齊藤 龍市
課長



園田 暁子
社会福祉士
介護支援専門員



神宮 奈津子
社会福祉士
精神保健福祉士



武部 真幸
係長



栗原 千穂
社会福祉士
介護支援専門員



杵渕 絢子
社会福祉士